

静岡県中学校総合体育大会柔道の部

第47回東海中学校総合体育大会柔道大会
(兼 予選会)
第56回全国中学校体育大会柔道大会

1. 期	日	令和7年 7月25日(金)	男子・女子団体戦
		7月26日(土)	男子・女子個人戦
		7月25日	7月26日
		開場・受付 9:00	開場・受付 8:00
		計 量 9:10～9:50	計 量 8:10～9:10
		監督役員打ち合わせ 10:15～	監督役員打ち合わせ 9:30～
		開 始 式 10:45～	開 始 式 9:50～
		競技開始 11:00～	競 技 開 始 10:10～

※個人戦の選手で第1日目の団体戦に出場した選手も、個人戦当日の計量を行う。
※試合前の練習は次の時間に限定して行う。

【1日目】中部9:10～9:30 西部9:30～9:50 東部9:50～10:10

【2日目】中部8:20～8:40 西部8:40～9:00 東部9:00～9:20

※クラブチームは両日とも、所在地区の時間でアップを行うこと。

2. 会 場 静岡県武道館
〒426-0067 藤枝市前島2丁目10-1 TEL 054-636-2332

3. 参加チーム・選手

- (1) 団体戦 男子・女子とも24チームとする。
ア 按分数をもとに、各支部の代表数により2チームを決定する。
イ 5月の県会長杯の結果より、クラブチームから男子2チーム女子2チームを選考し代表に加える。

東部		沼津・駿東・三島・田方・賀茂・東豆・富士・富士宮			
	男子	7			
	女子	6			
中部		静岡・志太・榛原			
	男子	5(7)			
	女子	8(9)			
西部		小笠	磐周	浜松・湖西	クラブ
	男子	1	2	7	2
	女子	1	1	6(7)	2

男子24チーム
女子24チーム

- (2) 個人戦 男子・女子とも各階級ごとに24名ずつとする。(8階級全て)
・個人戦の出場枠は、各階級ごと男子・女子とも団体戦の支部チーム数と同じ数とする。
・クラブチームが有する出場枠は、クラブが所在する支部に追加する。上記の表の()内の数字が個人戦出場枠数となる。

4. チーム編成

- (1) 監督 校長・教員・部活動指導員 1名(ベンチ入り可)
引率・監督は出場校の校長・教員・部活動指導員とする。ただし、個人戦に限り、外部指導者(コーチ)も引率・監督できる。またクラブにおいては、指導者資格が有効な代表者・指導者が生徒を引率・監督すること。
- (2) コーチ 校長・教員1名または学校長が認めた外部指導者(コーチ)1名の申請が可能。(ベンチ入り可)
<コーチとして認められる外部指導者(コーチ)の条件>
・年間を通し、日頃から学校の部活動を指導している者。
・中体連の大会運営に関して理解を示し、協力的な者。
・中学校の教職員でないこと。
クラブにおいては、指導者資格が有効な代表者・指導者がコーチを務めること。
ベンチ入りは(1)(2)の2名のみとする。
- (3) 選手数 男子団体戦 5名(3名以上) 女子団体戦 3名(2名以上)
- (4) 補員数 男子団体戦 4名以内 女子団体戦 2名以内

※ 運動部活動顧問等の部活動指導中における暴力・体罰・セクハラ等に対する静岡県中学校体育連盟の対応

「静岡県中学校体育連盟が主催する本大会に出場するチーム・選手の引率者、監督、部活動指導員、外部指導者(コーチ)、トレーナー等は、部活動の指導中における暴力・体罰・セクハラ等により、任命権者又は学校設置者から懲戒処分を受けていない者であることとしている。校長はこの点を確認して、大会参加申込書を作成する。なお、外部指導者(コーチ)、トレーナー等は校長から暴力等に対する指導措置を受けていないこととする。」

※ クラブチームにおいても、上記と同様に取り扱う。

5. 競技上の規定及び方法

(1) 競技規則

- ア 国際柔道連盟試合審判規程及び国内における「少年大会特別規程」並びに本大会申し合わせ事項による。
- イ 柔道衣は白色とする。
- ウ (公財)講道館から正式に段位証書が交付されている有段者は黒帯を用いること。
- エ 女子の有段者は、白線なしの黒帯を使用すること。

(2) 競技方法

ア 団体戦

- ・トーナメント方式とする。
- ・男子は1チーム5人制、女子は1チーム3人制により試合を行う。
- ・チーム編成は、体重の重い者を対象とし、以下体重順とする。交代の選手と入れ替えた場合においても、同様に体重順とする。試合毎の選手の位置の入れ替え及び一度退いた選手の再出場は認めない。
- ・試合時間は3分間とし、代表選における延長戦(ゴールデンスコア)は無制限とする。延長戦は、5分を目安にウォーターブレイクをとる。
- ・勝敗の判定基準は、「一本」「技あり」「有効」または「僅差(『指導』の差2)」とする。
- ・優劣の成り立ちは、「一本」=「反則勝ち」>「技あり」>「有効」>「僅差」とする。
- ・チーム間の勝敗の決定は、勝ち数によるが、同等の場合は内容によって決定する。勝ち数、内容ともに同等の場合は、1名による代表選により決定する。代表選は任意の選手とし、試合方法は個人戦の競技方法とする。

イ 個人戦

- ・トーナメント方式とする。
- ・階級は男女それぞれ次の8階級とする。
男子：50kg級 55kg級 60kg級 66kg級 73kg級 81kg級 90kg級 90kg超級
女子：40kg級 44kg級 48kg級 52kg級 57kg級 63kg級 70kg級 70kg超級
- ・試合時間は3分間とし、延長戦(ゴールデンスコア)は無制限とする。延長戦は、5分を目安にウォーターブレイクをとる。
- ・勝敗の判定基準は、「一本」「技あり」「有効」または「僅差(『指導』の差2)」とする。
- ・得点差が無い場合は、延長戦(ゴールデンスコア)により勝敗を決定する。延長戦(ゴールデンスコア)で新たに指導差がついた時点で勝敗が決する。

(3) 計量

ア 団体戦

- ・計量は指定された時間内に1回とし、再計量は一切認めない。
- ・男子は下穿き、女子は試合用Tシャツと下穿きとする。

イ 個人戦

- ・時間内であれば再計量を認める。
- ・団体戦と同様、又は下穿きの代わりに下着又はスパッツの着用を認める。
- ・別室計量が必要な場合はあらかじめ申し出ること。

※団体戦、個人戦どちらの場合においても、包帯・サポーター等の着用は一切認めない。

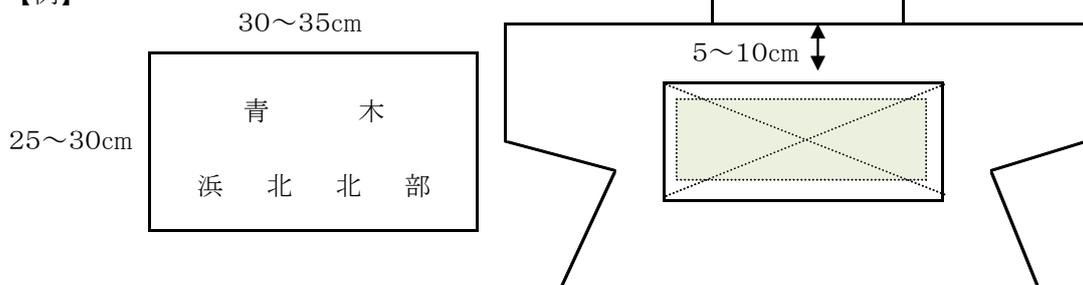
(4) 柔道衣

ア 現行の全日本柔道連盟柔道衣規格に適合した柔道衣(上衣・下穿き・帯)を着用すること。(新規格の赤色のマーキングのもの)

イ 柔道衣に必ずゼッケン(チーム名・名字入り)を縫い付けて出場すること。

- ・布地は白(晒, 太綾)とする。
- ・サイズは横30~35cm, 縦25~30cmとする。
- ・名字(姓)は上側2/3, チーム名は下側1/3とする。
- ・書体は太字ゴシック体とする(明朝または楷書でもよい)。
- ・文字色は、男子は黒, 女子は濃い赤色とする。
- ・縫い付け場所は襟から5~10cm下部の位置で、周囲と対角線を強い糸で縫い付ける。

【例】



ウ 女子は、上衣の下に白色又は白に近い色の半袖で無地のTシャツ又は半袖のレオタードを着用すること。ワンポイントは認める。

6. 脳震盪の扱いについて

- ・大会1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診断を受け出場許可を得ること。
- ・大会中、脳震盪と受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。受傷後は、ただちに専門医の精査を受けること。(脳神経外科)
- ・練習再開に関しては脳神経外科の診断を受け許可を得ること。
- ・当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し書面により報告書を提出すること。

7. 参加申し込み
- (1) 団体戦・個人戦ともに、巻末の「参加申込書」を県大会当日、受付にて提出する。
団体戦・個人戦の参加申込書については、令和7年7月7日(月)までにメールで送付する。
(送信先は、それぞれの支部長へ)
 - (2) 各支部部長は、県大会出場校からのメールを元に代表チーム・代表選手を県部長へ報告する。(メール)
 - (3) 外部指導者のベンチ入りを希望する場合は、所定の手続きをし大会当日に受付にて用紙を提出すること。
- 参加料について
- (1) 支部大会終了後、県大会出場を決めた学校は、出場人数×1000円を支部長に提出する。
※団体戦、個人戦の両方に出場する生徒も1000円となる。出場人数×1000円である。
 - (2) 支部長は、県大会受付にて提出する。
 - (3) 各校は封筒を用意し、校名・県大会出場人数・合計金額を記載し、支部長へ提出をする。
8. 表彰
- (1) 団体戦 男女各5位(8チーム)までを入賞とし表彰する。
 - 1位 : 優勝旗(男子のみ、県柔道協会)
優勝カップ(中体連)、優勝楯(静岡新聞社・静岡放送)
賞状、メダル(中体連)、メダル(静岡新聞社・静岡放送)
 - 2・3位 : 賞状(中体連)、メダル(静岡新聞社・静岡放送)
 - 5～8位 : 賞状(中体連)
 - (2) 個人戦 男女各5位(8名)までを入賞とし表彰する。
 - 1位 : 優勝カップ(中体連)、賞状、メダル(中体連)
メダル(静岡新聞社・静岡放送)
 - 2・3位 : 賞状(中体連)、メダル(静岡新聞社・静岡放送)
 - 5～8位 : 賞状(中体連)
9. 東海大会・全国大会出場枠
- (1) 東海大会
 - ア 団体戦
 - 男子 1～3位(3位決定戦は行わないので4チーム)が出場する。
 - 女子 1・2位が出場する。
 - イ 個人戦 (男女各8階級)
 - 男子 各階級1～3位(3位決定戦は行わないので4人)が出場する。
 - 女子 各階級1・2位が出場する。
 - (2) 全国大会
男女団体戦、男女個人戦各階級、全て県1位のチーム及び選手が出場する。
10. 東海大会・全国大会参加申し込み
- (1) 東海大会 : 出場校は申込書を県大会会場で受け取り、参加料(1人3,000円)を支払う。申込書は県部長が指示した日までに下記「12. 責任者連絡先」宛てに提出する。(提出は原本・コピー各1部ずつ。学校控えのコピーを1部必ず残すこと)県部長はコピー、参加料を本県中体連事務局に、原本を大会当日開催県専門部長に提出する。
 - (2) 全国大会 : 出場校は申込書を県大会会場で受け取り、参加料(1人4000円)を支払う。県部長が指示した日までに下記「12. 責任者連絡先」宛てに提出する。県部長は内容を確認した後、各提出先にまとめて送付する。交通手段については各学校で手配すること。
11. 全国大会出場報告
- ・県部長は県大会終了後直ちに全国大会出場チーム名、選手名を本県中体連事務局に報告する。
 - ・全国大会出場校は、県大会終了時に渡される「全国中学校体育大会出場結果報告書」にて8月中に県中体連事務局に報告する。
12. 責任者連絡先
- 〒410-2211 伊豆の国市長岡1407-1
伊豆の国市立長岡中学校 今井 靖史
TEL(学) 055-948-0238 FAX(学) 055-948-5654
13. 地域スポーツ団体(クラブ)参加について
- (1) 静岡県中学校体育連盟地域スポーツ団体(クラブ)加盟規程に記載されている通りの手続きを行い、遵守する。
 - (2) 静岡県中学校柔道大会や各支部中学校体育連盟柔道競技主催大会における地域スポーツ団体等の参加資格特例条件を次の通りとする。
 - (ア) 指導者資格のある指導者が、年間を通じて週単位で日常的に指導、練習していること。
 - (イ) 県内の中学校に在籍していること。
 - (ウ) 4月30日時点で全柔連登録をしている所属で出場すること。引越しなどのやむを得ない場合はこの限りではない。
 - (エ) 個人戦は支部大会から学校、クラブの合同で実施する。
 - (オ) クラブチームと中学校部活動の2重登録はできない。
 - (カ) 要請があった場合、大会役員として派遣できる指導者がいること。
 - (キ) 支部、地区大会はクラブチームが所在している支部に参加すること
 - (ク) 静岡県柔道協会を通して全柔連に加盟、登録をしていること。
 - (3) 大会の引率、監督、帯同コーチは、て全柔連公認指導者資格を有していなければならない。
 - (4) 大会参加にあたり、上記参加資格特例条件に対して虚偽、違反、逸脱行為が発覚した場合は、同一年度の地域スポーツ団体等の大会参加資格を取り消し、チーム及び該当所属選手ともに本年度内の参加を認めない。

14. その他

(1) 大会運営における留意事項

※ 巻頭の「大会参加にあたっての注意事項」を、各学校徹底の上大会に参加すること。

- ・ 監督、コーチはワイシャツ、ノーネクタイで審判員の服装に準ずる。
- ・ 試合場内へのアイスボックス・飲み物等の持ち込みは禁止する。
- ・ 試合と試合の間の水分補給はフロアに水分を落とさないようにしてとること。
- ・ 試合場内には選手・監督・コーチ以外は入らないこと。
- ・ 「試合場におけるコーチの振る舞いについて」を熟読し、罰則を科せられないように心掛ける。

(2) 団体戦における掲示用のオーダー表について

オーダー表は、各チームで作成し持参する。用紙サイズは、模造紙の1/3、約縦33cm横80cmとする。

(3) 「部活動指導員確認書(校長承認用)」ならびに「外部指導員承認書」については、県大会出場が決定した後、直ちに3部作成し、うち1部を静岡県中体連事務局へ郵送する。(他、1部は大会当日提出、1部は学校保管)

(4) 感染症拡大防止措置等、競技部の定めた事項を遵守し、指示に従うこと。

(5) 視察を希望される方(高体連関係)は受付時間に来場し、受付をすること。

(6) 選手の付添者(受け)は、中学生に限る。

(7) クラブチームとして出場するチームは、審判員または競技役員を必ず1名以上出すこと。